



▲成田行政区



▲長折やすらぎ会



▲すまいるサロン



▲西勝田東部行政区

高齢化や過疎化が進む現在、自治会や市民団体の皆さまが地域の活性化や賑わい創出のために活用できる集落支援協働事業補助制度（最大十万円）があります。参考までに今年度の活用事例を紹介し、補助対象となる経費等についても紹介いたします。

地域活性化のための集落支援協働事業補助制度のご案内。今年度十月までの活用事例を紹介します。

かわら版
集落支援員だより



◆事例①／成田行政区

「演奏会を招き音楽会と敬老会、芋煮会を合同開催しました」

以前から住民同士が集まる機会が減り、コミュニケーションが希薄になっていっていると感じていた成田行政区では「住民のみんなが楽しめる催しを」と十月に音楽会と敬老会、芋煮会を合同開催しました。

東京からピアノ奏者の水野さんと友人のトランペット奏者を招き、約七十名が参加し、楽しい催しになりました。「芋煮会は十年ぶり？みんなで食べると美味しいね」「懐かしい音楽を聞ける良かった」「来年も続けたい」という声が上がって、大好評でした。



▲成田生活館の庭で芋煮を食べ、記念撮影。

★集落支援協働補助金の使い道は？
↓「演奏者二人への謝礼（交通費含む）に補助金を活用しました」

◆事例②／西勝田東部行政区

「ご当地アイドルのパフォーマンス&懇親会を行いました」

例年、秋の行事として消防訓練と芋煮会を行ってききましたが、コロナ禍の休止期間の影響もあって

「震災遺構や施設を見学し、日頃の防災対策の大切さを痛感しました」

東日本大震災から13年経った今、改めて災害への危機意識を高めるために浜通りを訪れたサロンもあります。後日、視察を今後に生かすための振り返りの会も開かれました。

◆事例③／長折やすらぎ会

主なコース：道の駅なみえ→東日本大震災・原子力災害伝承館→震災遺構浦戸小学校→大平山公園→浜の駅・松川浦

防災意識の高揚と会員の親睦を目的に60～80代の21名が参加。振り返りの会では、自宅の防災グッズ点検やハザードマップの確認の必要性が話し合われ、「災害時は助け合おう」と地域の絆が強まりました。



▲「テレビで見たのと同じ。衝撃の体験」「小学生が大平山まで走った道のりを思い涙が出た」等の声がありました。

◆事例④／すまいるサロン

主なコース：震災遺構浦戸小学校→東日本大震災・原子力災害伝承館→浜の駅・松川浦→道の駅・伊達の郷りょうぜん

平成25年に大雨の被害を受けた初森地区では、災害体験からの学びを風化させないために今回の視察を計画。振り返りでは「過去の体験を若い世代に伝え、防災に備えることが大切」など前向きな意見が出されました。



▲「学校の給食室の混乱を見てショック。津波の恐ろしさを知った」「今思い出しても震えがくる」等の声がありました。

★二本松市集落支援協働事業補助金とは？★

集落の維持及び活性化のための事業に必要な経費に対して、二本松市集落支援補助金を利用することができます。

➡補助対象となる経費とは？

地域住民の交流や地域おこし等の取り組みに要する費用、外部アドバイザーの招へいにかかる費用、都市から地方への移住・交流の推進に要する経費、特産品を生かした地域おこしに要する経費、農山村教育交流に要する経費、伝統文化継承に要する経費等です。

お問い合わせ先／二本松市岩代支所 集落支援員

☎0243-65-2777 安斎、佐久間、菅野まで

★集落支援協働事業補助金の使い道は？★

➡「バスの日借り上げ代、ガソリン代、運転手謝礼、入場料金等に補助金を活用しました」

合戦場のしだれ桜の下でチャリティマルシェが開催されました

去る10月19日(土)合戦場のしだれ桜の下で樹勢回復の募金のためのチャリティイベント「いわしろあづまっぺマルシェ」が開催されました。屋台や出店が並び中にステージが設置され、地元在住の歌手秀香さんや若手シンガー、楽器演奏家によるチャリティコンサートも行われ大勢集まりました。主催は、いわしろMaisonと合戦場のしだれ桜保存会。岩代観光協会と道の駅さくらの郷が後援となり、総額14万1,843円が寄付されました。

◀チャリティコンサートは、午前・午後と2部制で開催。

◀謎の501部隊も登場し盛り上がりしました。



▲美味しい匂いが漂う屋台や出店が並びました。



▲NHK福島・吾妻アナも取材に訪れ、11月14日“はまなかあいづToday”で樹勢回復の取り組みが放映されました。

合戦場のしだれ桜樹勢回復プロジェクトの立ち上げから数ヶ月が経過し、去る十月末日に期限を迎えました。
その結果報告と共に、合戦場のしだれ桜保存会会長と岩代観光協会会長からの御礼の言葉を掲載いたします。

◇御寄付御礼◇

お陰様をもちまして、ご寄付の総額が840万円を上回り、当初目標の500万円を大幅に超えました。また心温まるメッセージも数多く頂戴し、一同大いに勇気づけられました。
合戦場のしだれ桜は、非常に厳しい状況ではありますが、皆様からお寄せいただきました善意により、今後はこれまでにない大規模な治療を行うことが可能となりました。

合戦場のしだれ桜樹勢回復プロジェクト関連レポート&最終報告
目標達成率百六十八%。皆さまの多大なるご尽力に感謝いたします！

★目標金額 500万円

★支援総額 841万5654円

(募金箱・口座振込・現金)

589万654円

(クラウドファンディング)

252万5000円

桜の樹勢回復事業は、これらが正念場で、そして長い年月を要します。皆様のご期待にお応えできますよう誠心誠意、進めて参ります。この度のご厚情に心から感謝申し上げますとともに、くれぐれもご自愛ください。りますようお願い申し上げます。御礼のご挨拶いたします。
来春も合戦場でお待ち申し上げます。

令和六年十一月吉日

合戦場のしだれ桜保存会
会長 山崎清志
岩代観光協会 会長 湊幹夫

♡菊松くん写真展開催中♡

二本松の菊人形のキャラクター菊松くんの写真展を下記の通り開催中。ぜひ足を運んで下さい。



☆場所：岩代支所1階
☆開催期間
12月26日(木)まで
☆岩代や二本松市内外を菊松くんが旅する光景がいっぱいです。四季折々の写真を楽しんでください。

▲「菊松くんを探せ！」クイズも用意しています。

一枚の写真 その③

岩代小浜の歴史と文化を護る会

副会長 大内英克

時は流れ平成二十七年、恩師、そして一番の理解者の先輩を立て続けに亡くした。
更に、地域は東日本大震災や原発事故の影響により疲弊していた。今こそ先輩や仲間たちと郷土の誇りや歴史を顕彰しようと「岩代小浜の歴史と文化を護る会」を立ち上げた。

当地の「西念寺柿」が献上柿としても有名な「会津みしらず柿」の起源ともいわれる経緯を地域内外に知らしめるため、元福島県知事佐藤栄佐久氏を介して二本松市長、会津若松市長によるみしらず柿の記念植樹を西念寺で行った「みしらず柿里帰り事業」を実施することができた。
また、顧問の一人である松本誠一(当時)に「郷土の偉人渡辺閑哉翁」と題した講演をお願いし、近隣の市町村や県外からも多くの参加をいただき、郷土の偉人を再認識できた。

昭和二十年に発生した「小浜町大火」を二度と繰り返さないため、消防団が毎年行っていた火防督励に参加し、地域の子供たちによる昔ながらの徒歩による火防督励を今も実施している。他に、地域に残る道標や史跡、記念碑の修復、小浜の史跡パレットの作成や狼煙上げ等も始め、小浜の歴史や文化の継承に尽力している。